

工業用水道事業会計決算

平成19年度 公営企業の決算状況をお知らせします

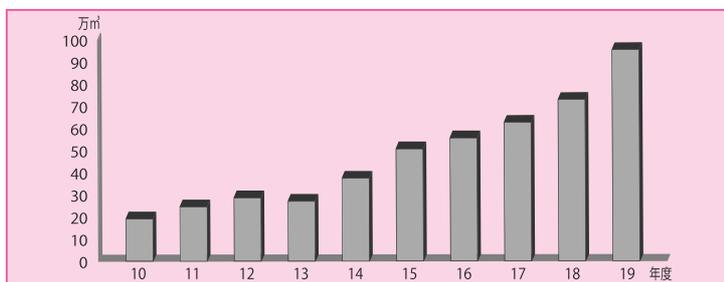
給水状況

給水事業所数	23事業所
配水能力	5,300m ³ /日
年間総配水量	959,806m ³
1日最大配水量	4,270m ³
1日平均配水量	2,622m ³

平成19年度は、18年度から3事業所増の23事業所への給水を行いました。給水量は、工業団地の各事業所の使用水量が伸びたことから、前年度に比べ30.9%の伸びとなりました。このため、料金収入は前年度より500万円増加

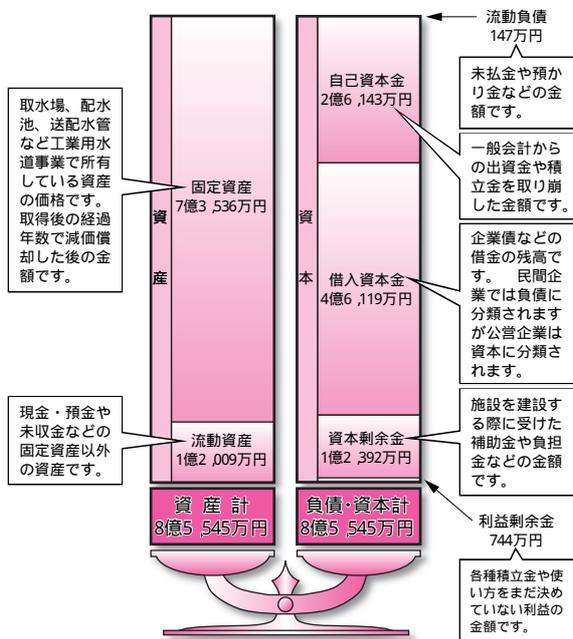
441万円の
単年度黒字

年間配水量の推移

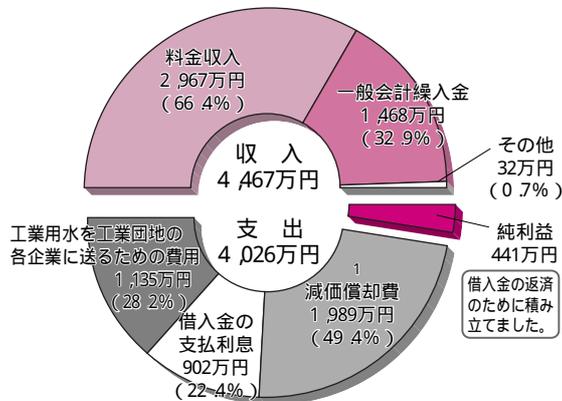


して2967万円となりました。料金収入が増加した分、一般会計からの繰入金を減額しました。結果として、昨年度より138万円多い441万円の黒字となりました。この純利益・利益剰余金は、借入金の返済に充てるため積み立てます。

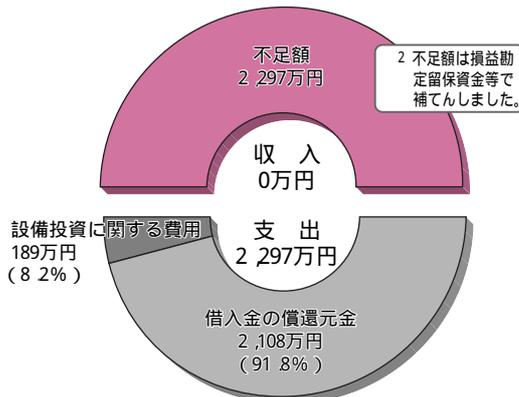
平成19年度大館市工業用水道事業貸借対照表 (平成20年3月31日現在)



収益的収支(消費税抜き) 事業の運営に関する収支



資本的収支(消費税込み) 施設の整備に関する収支



用語解説

1 減価償却費

建物など、時の経過などによって資産の価値が減る分を費用として計上します。実際には現金の支出は伴わず、損益勘定留保資金として処理します。

2 損益勘定留保資金

資本的収支の不足額を会計処理上補う財源の一つで、減価償却費など現金支出を伴わない経費を蓄積した資金です。

お問い合わせは、建設部管理課 ☎43 7086まで